

貸借対照表

2024年6月30日 現在

LAETOLI株式会社

(単位:千円)

| 資産の部 | | 負債の部 | |
|---------------|-----------|---------------|-----------|
| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
| 【流動資産】 | 2,004,453 | 【流動負債】 | 1,522,985 |
| 現金及び預金 | 401,921 | 短期社債 | 50,000 |
| 信託預け金 ※ | 1,274,828 | 未払金 | 83,971 |
| 売掛金 | 171,262 | 未払費用 | 25,046 |
| 販売用不動産 | 140,254 | 未払消費税等 | 24,295 |
| 貯蔵品 | 695 | 預り金 ※ | 1,337,662 |
| 前払費用 | 6,418 | 前受収益 | 1,518 |
| 未収法人税等 | 7,361 | その他 | 491 |
| その他 | 1,710 | | |
| 【固定資産】 | 273,366 | 【固定負債】 | 155,000 |
| 有形固定資産 | 62,246 | 匿名組合預り金 | 155,000 |
| 建物附属設備 | 52,605 | | |
| 工具器具備品 | 9,641 | | |
| 無形固定資産 | 115,456 | 負債の部合計 | 1,677,985 |
| ソフトウェア | 99,764 | 純資産の部 | |
| ソフトウェア仮勘定 | 15,692 | 科目 | 金額 |
| 投資その他の資産 | 95,663 | 【株主資本】 | 599,834 |
| 出資金 | 33,771 | 資本金 | 100,000 |
| 長期前払費用 | 7 | 資本剰余金 | 8,500 |
| 敷金 | 56,204 | 資本準備金 | 8,500 |
| その他 | 300 | 利益剰余金 | 491,334 |
| 繰延税金資産 | 5,379 | 利益準備金 | 2,660 |
| | | その他利益剰余金 | 488,674 |
| | | 繰越利益剰余金 | 488,674 |
| | | 純資産の部合計 | 599,834 |
| 資産の部合計 | 2,277,819 | 負債・純資産の部合計 | 2,277,819 |

個別注記表

1. 重要な会計方針

(1) 資産の評価基準及び評価方法

① 棚卸資産の評価基準及び評価方法

販売用不動産

個別法による原価法(貸借対照表価額は、収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法により算定)を採用しております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産(リース資産を除く)

定率法(ただし、2016年4月1日以降に取得した建物附属設備は定額法)を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

- ・建物附属設備3年
- ・工具器具備品5年~12年

② 無形固定資産

定額法を採用しています。なお、自社利用のソフトウェアの償却期間は、社内における利用可能期間(主に5年)に基づいています。

(3) 収益及び費用の計上基準

① 募集代行手数料に係る収益

募集代行手数料に係る収益は、顧客との業務委託契約に基づいてOZUCHI上で募集代行サービスを提供する履行義務を負っています。当履行義務は、プロジェクトの運用が開始した時点で充足されることからプロジェクト運用開始時点(一時点)に収益を認識しております。

② 期中管理手数料に係る収益

期中管理手数料に係る収益は、顧客との業務委託契約に基づいて期中管理サービスを提供する履行義務を負っています。当履行義務は、当社が日々サービスを提供すると同時に顧客により便益が費消されるため、一定期間にわたり収益を認識しております。

③ プロジェクト掲載料に係る収益認識

プロジェクト掲載料に係る収益は、顧客とのプロジェクト掲載契約書に基づいてOZUCHIへプロジェクト掲載する履行義務を負っています。当履行義務は、顧客との契約において合意された成果が得られた時点等で収益を認識しております。

④ 不動産売買に係る収益

不動産売買に係る収益は、顧客からの売買契約書に基づいて不動産を引き渡す履行義務を負っています。当履行義務は、顧客への移転登記日に履行義務が充足されるため、当該一時点で収益を認識しております。

⑤ 不動産賃貸に係る収益

不動産賃貸に係る収益は、顧客からの賃貸借契約書に基づいて不動産賃貸を行う履行義務を負っています。当履行義務は、顧客との契約に基づき契約期間にわたり履行義務が充足されるため、一定期間にわたり収益を認識しております。

(4) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

① 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、事業年度末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

2. 表示方法の変更に関する注記

貸借対照表

前事業年度まで流動資産の「その他」に含めて表示しておりました「信託預け金」は、資産総額100分の5を超えたため、当事業年度より独立掲記することとしました。

なお、前事業年度の「信託預け金」は、1,000千円であります。

3. 貸借対照表に関する注記

※ 信託預け金のうち1,273,828千円は不動産特定共同事業法に基づいて事業参加者に返還すべき金銭を分別して管理するために、取扱金融機関との間で締結する特定運用金銭信託契約書に基づき信託しております。事業参加者の資金1,273,828千円については、預り金として計上しております。

4. 当期純損益金額に関する注記

当期純利益 156,793千円